

生命科学の時代と、 社会の中の自然科学

講師：米本 昌平 氏

日時：2009年11月30日(月) 16:20-17:50

場所：広島大学総合科学研究科J306講義室(J棟3階)

申込不要
入場無料

概要：21世紀は「生命科学の時代」と言われる。その歴史的な意味と、生命科学が自然科学の中心を占めるようになったことによって、生命科学と社会との関係が具体的にどう変わったのかに関して、科学技術規制政策を国際的に比較しながら、日本の課題を考え、21世紀における大学と社会との関係を展望する。

講師紹介：東京大学先端科学技術研究センター特任教授。科学史・科学論。生命倫理や地球環境の問題について、政治(政策・制度)の比較分析に基づいた緻密な議論を展開する。

著書：『バイオポリティクス：人体を管理するとはどういうことか』(中公新書 2006 科学ジャーナリスト賞2007受賞)、『優生学と人間社会：生命科学の世紀はどこへ向かうのか』(講談社現代新書 2000 共著)など著書多数。

実施責任者：堀江 剛(広島大学大学院総合科学研究科)

お問合せ先：RM事務室(TEL 082-424-6518)